岡本　ひとし

一、放課後児童クラブ事業の方向性と課題
二、アフタースクールの運営
三、上森町長の施策の到達点

放課後児童クラブの課題

問 課題の解決に向けた認識を問う。

答 定員を増加したことにより指導員数を増加したところである。

問 課題のある児童への配慮が必要ではないか。

答 集団生活や同一場所での活動が苦手な児童には要配慮が必要と認識している。

問 夏休み、冬休み後の変化を見逃すことなく適切な指導を求める。

答 学校やアフタースクールとも連携し情報交換しながら注視していく。

アフタースクールの運営

問 学習状況調査の速報値では、家庭学習時間に課題があると指摘されているが、教育委員会の認識を問う。

答 長年の課題であり、家庭学習の習慣を指導していく。

町長の公約のアクションプランの実現に向けて

問 アクションプランの到達点は。

答 プランの実現に向けて進行管理に努め、全体の進ちょく把握を行い、おおむね実現している。

問 土地利用規制の弾力的な運用が急務ではないか。

答 土地利用のあり方を変えることが能勢のありようを変えることであり、ハードルが高いが大阪府とも調整し変えていきたい。

一般質問

大平　喜代江

能勢町空家等対策計画

国の空家等に関する基本的な指針や大阪府の「空家総合戦略・大阪2019」には、市町村の役割として地域活性化や地域の特性に応じたまちづくりの観点から、空き家やその除却後の跡地を地域資源として利活用するなど、空き家対策によるまちづくりの推進が掲げられている。

平成29年度末に策定された「能勢町空家等対策計画」について問う。

問 本計画の作成に関わった部署は。

答 計画は、直接業務に関係する土木建築、自治防災、政策推進、税務、美化衛生、下水道、水道の各係の職員で構成した庁内検討会議で作成した。

問 本町の基本的な考え方は。

答 第一義的には所有者の管理が前提であり、適正に管理されていない空家等の苦情に対する措置の仕方を計画に定めている。隣近所で迷惑にならないことを先行したことから土木建築が中心となり作った。利活用の充実は今後の課題と認識している。

問 区長会で本計画等についての説明は。

答 本計画については、パブリックコメントを行い、意見等がなかったことにより区長会等には報告していない。

問 本計画に利活用は民間主導によることを基本とし、町はその利活用を促進させる施策を進めるとあるが、人口減少に関わる空き家対策について、町長の思いは。

答 意見として参考にする。